

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
専門基礎分野	疾病論 I (呼吸・循環)	2	60	1 年次	9 月	名村 亮 藤本和輝 日高道弘
授業概要 疾病の成り立ちと回復の促進について理解し、病因と病変の特徴及び系統別疾患の病態・検査・診断・治療について学ぶ。						
到達目標 呼吸器、循環器、血液リンパ・免疫・アレルギー疾患における疾患の病態・治療・検査について理解する。						
使用教材 テキスト 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学[2] 呼吸器；医学書院 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学[3] 循環器；医学書院 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学[4] 血液・造血器；医学書院 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学[11] アレルギー 膠原病 感染症；医学書院 参考文献等						
評価 筆記試験						
授業計画						
時間・回数	授業内容					方法
呼吸器						
10 時間・5 回	1.症状とその病態生理 1)自覚症状 (1)喀痰 (2)血痰・喀血 (3)咳 (4)胸痛 (5)呼吸困難 2)他覚症状 (1)チアノーゼ (2)ばち指 (3)喘鳴 2.検査と治療・処置 1)検査 (1)血液検査 (2)動脈血液ガス分析 (3)喀痰検査 (4)胸腔穿刺 (5)画像診断 (6)気管支鏡検査 (7)肺生検 (8)呼吸機能検査 (9)睡眠時呼吸モニタリング 2)治療・処置 (1)吸入療法 (2)酸素療法 (3)人工呼吸療法 (非侵襲的陽圧換気、侵襲的陽圧換気) (4)呼吸理学療法 (5)胸腔ドレナージ (6)呼吸器外科の手術					講義
9 時間・5 回	3.疾患の理解 1)感染症 (1)風邪と急性気管支炎 (2)インフルエンザ (3)肺炎 (4)肺結核 2)間質性肺疾患 3)気道疾患 (1)気管支喘息 (2)慢性閉塞性肺疾患 4)呼吸不全 (1)肺性心 5)呼吸調節に関する疾患 (1)過換気症候群 (2)睡眠時無呼吸症候群 6)肺腫瘍 (1)悪性腫瘍 (肺癌、中皮症) 7)胸膜・縦隔・横隔膜の疾患 (1)胸膜炎 (2)気胸 (3)塵肺					講義
1 時間・1 回	筆記試験 45 分間 (呼吸器は試験時間合わせて 20 時間)					

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
専門基礎分野	疾病論 I (呼吸・循環)	2	60	1 年次	9 月	名村 亮 藤本和輝 日高道弘
時間・回数	授業内容					方法
	9)先天性心疾患 (1)動脈管開存症 (2)心房中隔欠損症 (3)心室中隔欠損 (3)ファロー四徴症 (4)完全大血管転位 (換) 症 10) 動脈系疾患 (1)大動脈瘤 (2)大動脈解離(3)動脈の閉塞性疾患 (閉塞性動脈硬化症) 11) 静脈系疾患 (1)血栓性静脈炎, 静脈血栓症 (2)深部静脈血栓症 (3)静脈瘤 (4)肺塞栓症 (5)上大静脈症候群 12) リンパ系疾患 (1)リンパ管炎 (2)リンパ節炎 (3)リンパ浮腫					
1 時間・1 回	筆記試験 45 分間 (循環器は、試験時間合わせて 20 時間)					
血液・リンパ・免疫						
6 時間・3 回	1.症状とその病態生理 1)貧血 2)白血球増加症 白血球減少症 3)脾腫 4)リンパ節腫脹 5)出血性素因 2.検査と治療・処置 1)検査 (1)末梢血検査 (2)骨髄穿刺・生検 (3)出血傾向の検査 (4)リンパ節生検 2)血液型と輸血 3)造血器腫瘍の分類 4)造血器腫瘍治療の基本 (1)化学療法 (2)補助療法としての輸血療法 (3)造血幹細胞移植					講義
8 時間・4 回	3.疾患の理解 1)赤血球系の疾患 (1)鉄欠乏性貧血 (2)巨赤芽球性貧血 (3)再生不良性貧血 (4)溶血性貧血 (5)二次性貧血 (6)骨髄異形成症候群 2)白血球系の疾患 (1)白血病 (2)白血球の異常 3)リンパ網内系疾患 (1)伝染性単核球症 (2)悪性リンパ腫 (3)血球貪食症候群 (4)H I V感染とエイズ 4)異常タンパク血症 (1)多発性骨髄腫 5)出血性疾患 (1)血管異常 (2)血小板異常 (3)凝固異常 (3)播種性血管内凝固症候群					講義

